

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	5647
部名	保健所	課名	生活衛生課	課長名	飯田
事務事業名	犬・猫不妊去勢手術助成事業				
予算上の事務事業名	同上				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第1節 地域保健対策の充実				事業開始年度
施策名	第2施策 快適で安全な生活環境の確保				平成12年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
動物の愛護及び管理に関する法律、神奈川県動物の愛護及び管理に関する条例					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分		指導・規制・許認可 ▼			
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
市民が飼養している犬・猫に不妊去勢手術を実施する際、その経費の一部を助成することにより、野犬・野猫の増加を最小限にとどめ、動物の愛護と公衆衛生の徹底が図られる。			犬・猫を飼養している市民		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
補助金額	犬メス	4000円	補助金交付件数	2067件	
	犬オス	3000円		犬メス	296件
	猫メス	4000円		犬オス	217件
	猫オス	2800円		猫メス	979件
				猫オス	575件
6 関連・類似事業や他市の状況					
他市においても同様の事業を行っている。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	7,947	7,414	7,666	7,645	7,645
一般財源	7,947	7,414	7,666	7,645	7,645
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	12,585	12,015	12,105	12,105	12,105
事業コスト合計(a)	20,532	19,429	19,771	19,750	19,750
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	犬・猫不妊去勢手術助成事業			対象名称(単位)	補助金交付(件数)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	20,532	19,429	19,771	19,750	19,750
対象数	2,129	1,971	2,105	2,105	2,105
単位あたり経費(円)	9,644	9,857	9,392	9,382	9,382
前年度比		1.02	0.95	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	補助金交付率	指標式と指標の説明	決算件数/予算見積件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	2,129.0	1,971.0	2,068.0		
目標	2,180.0	2,044.0	2,105.0	2,105.0	2,105.0
目標達成度	0.98	0.96	0.98		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	手術実施率	指標式と指標の説明	補助金交付件数/補助金交付決定件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	0.0	1971.0	2068.0		
目標	0.0	2355.0	2500.0	2105.0	2105.0
目標達成度		83.7	82.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[ ] : 良好な状態を維持する事業				
	[ ] : 概ね良好な状況である事業				
	[ ] : 見直しを行う必要がある事業				
	[ ] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業を続けていくことが、野犬・野猫の増加を防止し、また動物愛護の精神の啓蒙にも有効である。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・広報さがみはらに掲載(4月) ・動物愛護週間に合わせ広報紙等により適正飼養についての啓発			特になし		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			